

離れの茶室、サンルーム付きの明るい居間 城下町・上田に建てた純和風の寄棟造り

(株)司工務店

S邸

長野県上田市 家族構成：夫婦+老人

構造：木造2階建て 延床面積：200.65㎡(約60.4坪)



外観 淡色土壁調の外壁に、ボリューム感のある寄棟屋根を配したS邸。玄関と中庭を境に接客空間と家族空間を分離し、プライバシーに配慮。

設計のポイント

城下町で知られる信州・上田。千曲川が近くを流れる静かな住宅地に建つS邸は、新築に当たり「茶室のある純和風の家。将来的には息子夫婦と一緒に住める間取り」を希望されました。

外観は日本瓦葺きのどっしりとした寄棟造り。湿気から住まいを守るため、外壁には20mm厚のラムサイディング(通気工法)を張り、明るく上品な土壁調のジョリパット吹き付け仕上げとしました。エクステリアは、できるだけ自然を基本に、東西に長い敷地でしたので、中庭を設けて直射日光と通風に配慮。周囲は開放的にして植栽を施しました。

間取りは、茶室・和室を離れとして設け、住居部分との中間に玄関・ホールを配置。それぞれの動線を確保した独立性の高いプランです。

茶室は、床柱に杉面皮丸太、落とし掛けに日光杉変木を用いた他、ヒノキ材と土、和紙で削り上げた本格数寄屋の造りで、竹スノコを備えた水屋付きです。

一方、ダイニング・キッチンは、朝の早い施主様を考慮して、さわやかな朝陽が十分入る東向きで、中庭に面しています。リビングはDKの南側に続き間とし、広く一体的に使えるよう開閉タイプの間仕切りを採用しました。また座ってくつろげる畳コーナーを設けた他、ボウ・ウインドウ付きのサンルームを接続。明るい陽射しを取り入れた、心地良いくつろぎ空間となっています。

廊下スペースはできるだけ少なくしてコンパクトな動線を心掛け、さらに床段差をなくし、浴室やトイレに手すりを設けるなど、バリアフリーにも配慮しました。



居間 畳コーナーに加えてサンルームを設けるなど、空間構成に変化を付けたリビング。Rの大きな出窓からたっぷりの光が差し込み、明るく開放感にあふれている。



玄関ホール 正面に中庭を望み、来訪者に安らぎを与えるゆったりとした造りの玄関ホール。床は磁器質タイルの乱張りで、玄関収納は大きな飾り棚を兼ねた造り付け。

■面積

敷地面積 / 526.64㎡ (約159.3坪)

延床面積 / 200.65㎡ (約60.4坪)

1階 / 147.77㎡ (約44.7坪)

2階 / 52.88㎡ (約16.0坪)

■契約

平成11年1月

■竣工

平成11年7月

■外部仕上げ

基礎 / コンクリート打放し AEP吹き付け

外壁 / 20mm厚ラムダサイディング下地(通気工法)ジョリバット吹き付け
屋根 / 日本瓦葺き

■内部仕上げ

玄関 / 床：鉄平石乱張 壁：ビニールクロス張り 天井：ビニールクロス張り

ホール / 床：フローリング合板 壁：ビニールクロス張り 天井：ビニールクロス張り

居間 / 床：フローリング合板 一部スタイロ畳 壁：ビニールクロス張り 天井：ビニールクロス張り

DK / 床：フローリング合板 壁：ビニールクロス張り 天井：ビニールクロス張り

茶室 / 床：スタイロ畳 壁：京聚楽塗り(腰：民芸和紙張り) 天井：竿縁
床柱：杉面皮
床框：杉面皮
床板：桧

落とし掛け：日光杉変木

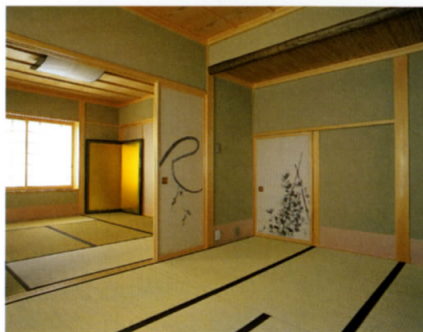
寝室 / 床：スタイロ畳 壁：ビニールクロス 天井：ジプトーン

洗面・脱衣室 / 床：フローリング合板 壁：ビニールクロス 天井：ビニールクロス

浴室 / ユニットバス



茶室 ヒノキの香りに包まれた京聚楽塗り壁の茶室。床の間は銘木の隅取り棚を設け、落とし掛けには日光杉変木を使用。腰壁部分は保護のため民芸和紙を張っている。左奥は竹スノコを備えた水屋で、こちらも出窓付き。



和室 茶室と続き間にした2面開口の明るい和室。茶室と合わせて14畳の広々とした空間になるので、多人数の接客にも十分対応可能。

■資料請求・お問い合わせ

設計：室賀欣一建築設計事務所

長野県上田市大字御所487-3

TEL.0268-27-3090 FAX.0268-27-6037

施工：株式会社 司工務店

長野県上田市大字古里852-3

TEL.0268-23-2210 FAX.0268-23-2222

